

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.8
Q1 室内環境								3.1
1 音環境		3.4	0.15					3.4
1.1 騒音		3.0	0.40					
1.2 遮音		5.0	0.40					
1 開口部遮音性能	T-2	5.0	1.00					
2 界壁遮音性能		-	-					
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)								
4 界床遮音性能(重量衝撃源)								
1.3 吸音		1.0	0.20					
2 温熱環境		2.5	0.35					2.5
2.1 室温制御		2.0	0.50					
1 室温		1.0	0.46					
2 外皮性能		3.0	0.19					
3 ゾーン別制御性		3.0	0.35					
2.2 湿度制御		3.0	0.20					
2.3 空調方式		3.0	0.30					
3 光・視環境		3.0	0.25					3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.51					
1 昼光率		-	-					
2 方位別開口								
3 昼光利用設備		3.0	1.00					
3.2 グレア対策		-	-					
1 昼光制御		-	-					
3.3 照度		-	-					
3.4 照明制御		3.0	0.49					
4 空気質環境		3.9	0.25					3.9
4.1 発生源対策		4.0	0.50					
1 化学汚染物質	ほぼ全体的にF☆☆☆☆を使用している。	4.0	1.00					
4.2 換気		3.0	0.30					
1 換気量		3.0	0.50					
2 自然換気性能		-	-					
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.50					
4.3 運用管理		5.0	0.20					
1 CO ₂ の監視		-	-					
2 喫煙の制御	全館禁煙としている。	5.0	1.00					
Q2 サービス性能		-	0.30					3.1
1 機能性		2.7	0.40					2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40					
1 広さ・収納性		-	-					
2 高度情報通信設備対応		-	-					
3 バリアフリー計画		3.0	1.00					
1.2 心理性・快適性		2.6	0.30					
1 広さ感・景観	売場の天井高さは3.6m以上を確保している。	5.0	0.33					
2 リフレッシュスペース		2.0	0.33					
3 内装計画		1.0	0.33					
1.3 維持管理		2.5	0.30					
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50					
2 維持管理用機能の確保		2.0	0.50					
2 耐用性・信頼性		3.0	0.30					3.0
2.1 耐震・免震		3.0	0.50					
1 耐震性		3.0	0.80					
2 免震・制振性能		3.0	0.20					
2.2 部品・部材の耐用年数		3.4	0.30					
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20					
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20					
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	床:タイル貼(65年)、 天井内壁:ボード下地塗装(20年):ボード類(30年)	5.0	0.10					
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10					
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水管=VP(B)、給湯管=HT(B)、汚水管=VP(B)、EIは不使用。	5.0	0.20					
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.20					

2.4 信頼性			2.8	0.20		-	
1	空調・換気設備		3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備		3.0	0.20		-	
3	電気設備		3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備		2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性			3.6	0.30		-	3.6
3.1 空間のゆとり			5.0	0.30		-	
1	階高のゆとり	階高の平均値=4.6m	5.0	0.60		-	
2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率=0.091	5.0	0.40		-	
3.2 荷重のゆとり			3.0	0.30		-	
3.3 設備の更新性			3.0	0.40		-	
1	空調配管の更新性		3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性		3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性		3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性		3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性		3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.33		-	2.4
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			2.0	0.30		-	2.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		2.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-		-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40		-	3.4
1 建物外皮の熱負荷抑制			3.0	0.15		-	3.0
2 自然エネルギー利用			3.0	0.11		-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEIm 非住宅 0.86 住宅(専有部) -	4.0	0.53		-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)	BEIm=0.86	4.0	1.00		-	
	集合住宅の評価(3c)					-	
4 効率的運用			2.5	0.21		-	2.5
	集合住宅以外の評価		2.5	1.00		-	
4.1	モニタリング		3.0	0.50		-	
4.2	運用管理体制		2.0	0.50		-	
	集合住宅の評価					-	
4.1	モニタリング					-	
4.2	運用管理体制					-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30		-	2.8
1 水資源保護			3.4	0.20		-	3.4
1.1	節水	自動水栓や節水型便器などで節水している。	4.0	0.40		-	
1.2	雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30		-	
2 非再生性資源の使用量削減			2.6	0.60		-	2.6
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.11		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.22		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	-	3.0	0.22		-	
2.4	躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	-	1.0	0.22		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材		-	-		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	LGS+ボードなど解体時に分別しやすい工法としている。	4.0	0.22		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.20		-	3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.30		-	
3.2	フロン・ハロンの回避		3.0	0.70		-	
1	消火剤		-	-		-	
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50		-	
3	冷媒		3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境			-	0.30		-	3.1
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率=87%	3.5	0.33		-	3.5
2 地域環境への配慮			2.9	0.33		-	2.9
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25		-	
2.2	温熱環境悪化の改善		3.0	0.50		-	
2.3	地域インフラへの負荷抑制		2.7	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25		-	
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25		-	
3	交通負荷抑制	必要数の駐車、駐輪を確保し、出入庫の動線を整理している。	4.0	0.25		-	
4	廃棄物処理負荷抑制		1.0	0.25		-	
3 周辺環境への配慮			3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40		-	
1	騒音		3.0	1.00		-	
2	振動		-	-		-	
3	悪臭		-	-		-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制			3.0	0.40		-	
1	風害の抑制		3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制					-	
3	日照障害の抑制		3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制			3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策	光害ガイドラインのうち一部を満たし、屋外広告物は過半を満たす。	4.0	0.70		-	
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30		-	